

## 第 13 回 HIS 研究会開催案内（第 3 報）

本研究会は広く会員・非会員を問わず一般に公開しております。ご関心のある方の参加を歓迎します。参加希望者は **6/14(火)まで**に、中嶋聞多(HIS 研究会主査)のメールアドレス **monta.nakajima@gmail.com** までご連絡ください。

演題 情報のデザインから社会の形づくりへ  
日時 6月17日(金) 18:00~20:00  
場所 法政大学デザイン工学部 T313 教室(市ヶ谷田町校舎)  
[https://civil.ws.hosei.ac.jp/wp/tokuchou\\_enkaku/access](https://civil.ws.hosei.ac.jp/wp/tokuchou_enkaku/access)

21 世紀に入ること、デザインの分野はその対象を物から情報に拡張し「情報デザイン」という領域を発展させてきました。そのデザインがいま「社会を形づくり」という新たな課題に挑んでいます。講演では、「技術を道具にする」というデザイン課題のひとつ「AI 技術を人びとが利活用する道具にする」試みを紹介し、デザインが社会の形づくりに関わる意味を考えます。

### 講演：須永剛司氏（東京芸術大学名誉教授）

神奈川県横浜市出身。多摩美術大学立体デザイン科を卒業し GK インダストリアルデザイン研究所勤務。デザインの現場を離れ筑波大学大学院でデザインと認知科学の学際領域を学ぶ。1987年 学術博士（筑波大）。大学院修了後、筑波大学芸術学系助手。88～89年イリノイ工科大学で情報設計方法を研究。89年より多摩美術大学美術学部二部デザイン学科の開設に参画。95～96年スタンフォード大学コンピュータ科学部でヒューマン・コンピュータ・インタラクション（HCI）を研究。98年多摩美術大学美術学部情報デザイン科を開設。日本の情報デザイン分野を拓き、教育活動のほか異分野連携による研究活動を展開。2012～14 アアルト大学（フィンランド）科学芸術諮問委員、13～19年京都大学デザインスクール特任教授、15年アアルト大学客員教授、15～19年東京芸術大学美術学部デザイン科教授。19年から公立はこだて未来大学特任教授。現在、社会とともに進めるデザインのあり方と新たなデザインの学びを開拓している。主著：『デザインの知恵 情報デザインから社会のかたちづくりへ

<<https://www.hmv.co.jp/product/detail/9696658>>』フィルムアート社、2019

約 1 時間ご講演いただいた後、先生と参加された皆さんで創造的なディスカッションができたかと考えています。さらに終了後、お互いの名刺交換と議論を継続されたい方々のために、駅方向に歩いてすぐの中華料理屋さん(京華茶楼市谷店)を予約しております。人数確認の都合もございますので、出欠をとらせていただきますので、ご返信ください(すでにお申し込みいただいている方も再度確認させていただきます)。

To [monta.nakajima@gmail.com](mailto:monta.nakajima@gmail.com)

お名前：

ご所属：

メールアドレス：

参加形式：リアル or オンライン

懇親会への参加希望：